

2019 - 20 年度 国際ロータリーのテーマ

『ロータリーは世界をつなぐ』

RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー

川崎北ロータリークラブ会長の方針

『この先の未来へ』

会長 朝山 浩

Rotary



川崎北ロータリークラブ 会報



会 長 朝山 浩

幹 事 野口 隆一

会報委員長 大塚 正一

事務所：〒211-0063 川崎市中区小杉町 3-70-4 ホーユパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30

二子玉川エクセルホテル東急

第 2877 例会

令和 2 年 1 月 22 日 (水)

(本年度第 24 回)

点 鐘

朝山 浩 会長

スマイル体操

豊見山 徹 親睦副委員長

司会と斉唱

色摩 和恵 副会場監督

生垣 繁 ソングリーダー

「それでこそロータリー」

お客様紹介

峯岸 雅宏 親睦委員

地区 RYLA 委員長 佐藤 佳一 様 (新横浜 RC)

出席報告

戸川 俊雄 出席委員長

会員数 55 名 (対象外 7 名)	出席 31 名	欠席 24 名
		出席率 64.58%
前々回訂正 (対象外 8 名)	欠席 23 名	MAKE UP 2 名
		訂正出席率 72.34%

欠席者

クルーズ君	花田君	星野(博)君	星野(妃)君	石坂君
上山君	北村君	小林君	甲田君	梶木君
松波君	松下君	妻鹿君	三平君	宮下君
溝淵君	野口(哲)君	相良君	関君	世良君
重田君	末永君	藁科君	渡邊君	

ご挨拶

地区 RYLA 委員長 佐藤 佳一 様 (新横浜 RC)



今年はゴールデンウィークに、キャンプをしながら高尾山に登るという新しい思考で、地区 RYLA を行っていきます。全身全霊を込めて企画しました。今年もたくさんの参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

会長報告

朝山 浩 会長

地区より、2020 学年度の米山奨学生は、書類審査・面接試験の結果、26 名が候補として選出されましたとのお知らせが届いています。なお、当クラブ宛に世話クラブの依頼がございました。世話クラブ並びにカウンセラーの選出につきましては、理事会にて協議いたします。

幹事報告

野口 隆一 幹事

1. 地区からの来信

- ① RI 日本事務局より、人頭分担金下半期分の送金依頼
- ② 地区資金・地区事業費下半期分の送金依頼
- ③ 第 2 弾 RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)パート I 開催のご案内
日時：2 月 24 日 (月・祝) 8：30 ～ 17：00
会場：聖光学院中学高等学校

2. 他クラブ例会臨時変更

●川崎 RC

2 月 13 日 (木) 休会 (祝日の週)

3 月 19 日 (木) 休会 (祝日の週)

卓話

職業奉仕クラブフォーラム

大塚 正一 会員

～この CM をご覧になったことはありますか。～



「世界は誰かの仕事でできている」

この CM を見ると、いつも「職業奉仕」をズバリ言い当てているなど感じています。皆様は、そう思われたことはないでしょうか。我々の仕事(職業)自体が社会への貢献、奉仕(サービス)であり、世界を作っているということ、職業奉仕の概念そのものだと思います。特に、最後に子供が「世界を作っているのは僕だ!」という場面ですが、これは担当プロデューサーがオチとして入れたシーンだと思います。しかし、職業奉仕という考えかたで見ると、異なって見えてきます。我々は自分の家族によって支えられており、家族のため、会社で働く全ての人の家族のために事業を営んでいるのですから、子供が「世界を作っているのは、僕だ!」と言ってもおかしくないわけです。



「つながっているのかもな！」

様々な仕事（職業）が、他の仕事（職業）の助けとなり、協力者となり、世の中を動かしています。仕事（職業）とは、様々な関係の連鎖の上に成り立っています。職業を正直に実践し、他者と協力していく、それが職業奉仕の大切な点でもあります。



「温めるつもりが、温められている」

自分がやったことが、自分に返ってくる。職業奉仕の受益者が自分自身ということは、ロータリーの第2標語「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」（アーサー・フレデリック・シェルドン）でも、謳われています。これら3つのCMですが、改めて見た感想はいかがでしょうか。

職業奉仕とは、様々な関係の連鎖（協力）の上に成り立っていることを理解し、その職業が果たす役割を認識し、その職業を正直に実践することです。つまり、他者から搾取せず、あらゆる人を豊かにすることです。仕事に真摯に取り組むことにより、その結果は「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」と言っているように自分たちに返ってくると、いうことではないでしょうか。この3つのCMに「職業奉仕」の原点が表現されていると思います。

ロータリークラブ創設時の基本概念：シカゴロータリークラブの綱領（1906年）

ロータリー創立の大きな目的が、会員同士の職業的な相互扶助であったため、創設当時は会員相互の商取引や、斡旋の結果を例会で報告したという記録があります。会員各自の事業の内容や取引状況が部外者に漏れないよう、機密保持を徹底しようとした記録も残っているそうです。

会員互恵の条項（第1条）は、ロータリー発足から数

年でなくなり、その後は事業を正しく実践するように求める条項に変わっていきました。これが「職業奉仕」の始まりだと思います。また、第2条にあるように当初は仲間探しの親睦や、社会的ステータスを追求したいという目的がありましたが、会員互恵と同じように会員間の親睦という条項も、より良い人間関係、交友関係を築くという内容に変わり、クラブ内での親睦を強調なくなりました。つまり、親睦はロータリー活動の前提ではあるが、目的ではないと考えられるようになりました。これは現在のロータリーでも同じと言えます。最後に追加された第3条ですが、これができることにより、クラブ内での対立が生まれます。互恵と親睦を大切だと思う会員と、地域貢献に意味を見出す会員との間の考えかたの違いです。

奉仕概念の確立 アーサー・F・シェルドン

そんな中で登場してくるのが、アーサー・F・シェルドンです。なんとか双方が納得できる「奉仕」とは何か、その理念をシェルドンは自身の経営学、販売理論に求めました。その中核にある考えは「『経営』とは他人に利益をもたらすこと、『販売』とは他人に奉仕すること」というものでした。そして、シェ



ルドンは1910年にシカゴで開催された全米ロータリークラブ連合会の大会（ロータリー最初の国際大会）での演説にて、ロータリーの第2標語となる言葉「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」で、その考えかたを会員に訴えました。後、ロータリーの綱領は次のように変わります。

【1910年ロータリーの綱領（目的）】

- ①アメリカ全土に加盟ロータリークラブを結成することによって、ロータリーの原則を拡大発展させる
- ②アメリカ全土の加盟ロータリークラブの業務と原則を統一する
- ③市民としての誇りと忠誠心を喚起し、かつこれを奨励する
- ④進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進する
- ⑤加盟ロータリークラブの個々の会員の事業上の利益を増大する

この第4条（④）を読めば、シェルドンの考えかたがいにシンプルであったかがわかります。彼の職業奉仕は、次のように表現できます。「世界は誰かの仕事（職業）でできている。つまり、職業こそが人類への貢献、サービスである」また、職業倫理や道徳については、「正直に職業を実践できたとき、職業上の利益の追求は道徳と一致する」と発言しています。道徳を守れないものは、市場によって淘汰される、逆に言えば市場が人を道徳化し、道徳を守れないものは市場により罰せられると考えていました。アダム・スミスの言うところ

の「神の見えざる手」により、市場から淘汰されると考えています。1921年、国際大会(エディンバラ)でシェルドンは、自身の職業奉仕理念を「靴屋さん」という職業を例にして説明しています。もし、世界の靴屋さんが製作機器も知識も持って集まっているときに大災害が起こり、靴に対する全てのものがなくなってしまうとしたら、人々は裸足で歩かなければならなくなります。この例からも靴屋さんという職業が世界へのサービスであることがわかるでしょう(シンプルに表現するため、多少無謀な説明もありますが)。

職業奉仕の理念の変移

シェルドンは1930年に退会しました。様々な理由があげられていますが、一つは自分の職業奉仕理念と国際ロータリー(RI)の理念に隔たりができたことです。もう一つは、1927年の国際大会で奉仕理念が4大奉仕と分けられたことです(それまではロータリーの奉仕という理念は、職業奉仕が基幹であった)。

シェルドン退会後の1931年には、道德律の配布が禁止になりました。何故なのでしょう。我々に理由として伝わっているのは、道德律の第2条に、シェルドンの標語「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」があり、そして最後の第11条にある「すべて人にせられんと思うことは人にも亦その如くせよ」が宗教的すぎるからということです。最後の第11条は新約聖書の言葉です。孔子も論語で同じことを逆の発想で「己の欲せざる所人に施すことなかれ」と言っています。宗教的過ぎる言葉でしょうか。単に道德観を表した言葉であり、今日でも誰もが納得できる道德観ではないのでしょうか。この時期は、まだ世界大恐慌(1929年)の荒波が吹き荒れていたはず。道德律が一番必要な時期ではなかったのか。何故、その時期に廃止にする必要があったのか、それは本当にシェルドンに対する反発なのでしょう。

実はロータリー創設の1905年には、シカゴに新しい労働組合ができています。アメリカ労働総連盟(AFL)から分離して、世界産業労働組合というストやボイコットを辞さない戦闘的な組織が設立されています。その当時、アメリカの労働組合の組織率は、数パーセントで大きな影響力を持っていたとは思えませんが、ロシア革命が起き、1922年にソビエト社会主義連邦共和国が誕生した中で、世界の社会主義の潮流は、特に1929年の世界大恐慌の後、確実にアメリカにも押し寄せて来ていたのではないのでしょうか。1950年代には、労働組合の組織率はピークに達し、労働者の3分の1が何らかの労働組合に所属しているという状態でした。その後徐々に減少し、アメリカでは現在の組織率は推定で13%くらいです(ちなみに、日本は平成30年に17%と過去最低を記録しました)。アメリカでも、日本でも労働組合はあまり強い組織とはいえないようです。

現在のRIによる職業奉仕

1987年RIは、廃止した道德律から「職業倫理の向上」

に関する部分を復活させました。この職業倫理の考え方の違いが、シェルドンの職業奉仕と今のRIの職業奉仕に対する考え方の違いです。今のRIは「職業倫理」「企業倫理」を高めることが職業奉仕だと言っています。

シェルドンの時代は、弱肉強食のビジネスで、人を騙しても、利益を出そうという悪徳商人が一杯いたのでしょう。そのような人間は市場から追い出されていくと言うことは間違いないでしょうから、ある程度までは市場により道德化されるのだと思います。また、仕事(職業)それ自体が人類への奉仕だと大きな声言うことは、労働者や労働組合から、労働者からの搾取を覆い隠そうとする詭弁だとも言われそうです。そのようなことから、「職業倫理」「企業倫理」を高めることへと主眼を移していったのではないのでしょうか。企業人の集まりであるロータリーが、職業=社会貢献だと堂々と宣言したら、世間からバッシングを受けることになるかもしれません。そう考えると、RIの対応は理解できます。また、今の時代は法律の網をかいくぐり、グレーなゾーンで違法にならないぎりぎりのビジネスも沢山あります。そのようなことを考えると、今の時代は当然「職業倫理」「企業倫理」を第一に訴える必要があります。すでに1922年の綱領から、「職業倫理」「企業倫理」が謳われており、シェルドンが退会した後は、より具体的に綱領に謳われるようになりました。

職業奉仕とは、現在の「ロータリーの目的」の第2条にあるように、「社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と定義されています。また、1989年に出された「職業奉仕に関する声明」には、「道德水準を守る。職業の社会的価値を認める。職業を社会のニーズに役立てる」ことが職業奉仕だと規定されています。

次の2つは、実際にはロータリーの職業奉仕とは異なります。しかし職業奉仕を語るときに、このような理論も度々なされていますので、最後に少し触れておきます。



天職論：Vocational Service

(元々、シェルドンは職業を語るとき、Occupation という単語を使っていました。それに対して RI は Vocation という単語を使い、職業奉仕を語りましたが、それがシェルドンには納得できなかったとも言われています) 職業は天職である、つまり神(天)への奉仕である。ロータリーの創設前から、職業を「天職(Vocation)、使命(Calling)」と考える思想は存在しました。キリスト教には、予定説という考えかたがあります。「神は選んだ人のみを救済する。人間の営みには、全く関係なく、それは初めから神の予定で決められている」という考えかたです。プロテスタント派のように、この考えを信仰の中心におくと、「自分は神に選ばれている」のかどうか、どうしても心配になってきます。そこで、「神による召喚」という意味のある職業(Vocation=ラテン語「呼ぶ」vocare の voc+ation)が重要になります。神の呼び出しを受けたということは、自分は選ばれし者であると信じることができるからです。そして、神の呼び出しに対して、しっかり答えること(仕事に精を出す)が、救済される証と考えられます。

また、日本人の労働観は元から天職論です。天(西洋の「神」とは異なる)から委託されたもの、それが職業(農業)であり、それによって天に仕えていることになります。18世紀から19世紀、日本特有の「家」の思想とあいまって、職業(家業)を天職と考える思想は、家訓などにもよくみられるようになりました。このように、日本の場合も天職論そのものは、非常に受け入れられやすい考え方です。

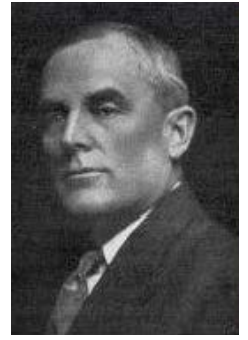
社会奉仕/職業奉仕表裏一体論

社会奉仕活動が、結果的に職業奉仕につながる、という考えかたです。一体論は、社会奉仕の受益者は奉仕を受ける側であり、職業奉仕の受益者は、奉仕をする側の人間であるという考えかたに基づいた理論です。

例えば、朝山会員(コメダ珈琲 武蔵中原店)が、売れ残ったパンを、夕方近所の養護施設に無料であげたとします。これは、地域社会に貢献したということから社会奉仕です。当然、この社会奉仕活動から利益を受けるのは、パンをもらった養護施設であり、その子ども達ということになります。では奉仕した朝山会員側は、どうでしょうか。もし、地元でこの朝山会員の行為が評判になり、お店に来るお客様が増えたとします。つまり、自分達の行った社会奉仕活動が、結果として自分達にも利益をもたらしたことになります。自分達が奉仕活動の受益者になったことになります。この時点で最初の行動である社会奉仕活動が、職業奉仕になるという考えかたです。「情けは人のためならず」という言葉が日本にはあります。この考えかたで職業奉仕を説明しているのがこの一体論です。

ロータリーの第1標語「超我の奉仕」は、1911年の国際大会(全米ロータリークラブ連合会)でのフランク・

コリンズのスピーチの中で使われた言葉、Service Not Self が、その変遷の中で Service Above Self として、2つ目の標語として採用されました(1950年)。1989年に、「超我の奉仕」が第1標語となり、「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」が第2標語と決められました。第1標語が、大きく奉仕という概念を表したモットーであり、第2標語が職業奉仕の概念を表したモットーとなります。職業奉仕のモットーが第2標語とされたということに、RIの奉仕に対する考えかたの大きな流れが見て取れます。



ニコニコリポート 帯谷 昌充 副会場監督

地区 RYLA 委員長 佐藤 佳一 様(新横浜 RC)

本日は RYLA の PR に参りました。例年と異なりキャンプと登山です。参加いただければ後悔させませんので、参加者の推薦をお願いいたします。

朝山 浩 会長、戸川 俊雄 副会長、野口 隆一 幹事、 入来 武久 60 周年実行委員長

本日は職業奉仕委員会によるクラブフォーラムです。横山 職業奉仕委員長、よろしくお願いいたします。60周年記念式典当日まで残り6週間です。皆様ご協力よろしくお願いいたします。

佐久間 馨 君

朝山年度も、もうあと5か月です。皆様楽しんでいきましょう！！

茂木 常夫 君

お久しぶりです。申し訳ございません。欠席していた分、ニコニコ入れさせていただきます。

ビール同好会：戸川 俊雄 君、生垣 繁 君、宮崎 秀樹 君、 大部 哲也 君、洪 征治 君、柳澤 信夫 君、豊見山 徹 君

今日はとても寒いですね。自己管理をしっかりとしましょう！！地区 RYLA 委員長 佐藤 佳一 様ようこそ。今年の研修会、よろしくお願いいたします。

松山 直樹 君、プログラム委員会：谷口 一成 君

本日の職業奉仕のクラブフォーラム、大塚 会員よろしくをお願いいたします。